

よしかわタイムズ

視察研修（福岡）

令和5年1月28日～1月29日の日程で福岡市を中心に視察をしてきました。到着日の福岡の気温は最高気温2度、風速7m予報。お昼ごろには雪も降り始め埼玉よりも寒い福岡でした。昼食にお隣の山口県のご当地麺料理である、瓦そばを頂きました。明治10年の西南戦争の野戦料理がルーツになっていると聞き驚きでした。昼食中の吹雪の様な天気は午後の世界遺産官営八幡製鉄所の視察が危ぶまれましたが何とか持ち直しボランティアさんの解説のもと日本の製鉄の歴史を学びました。

続いては北九州市に移動し「門司港レトロ」の散策。明治初期に開港して戦前まで日本三大港として栄えていた街。その後の長い低迷期を経て、平成7年に行政、民間が協力して「門司港レトロ」として生まれ変わり、レトロな街と現在の街が混在している独特な街並みが印象的でした。名物料理の焼きカレーやバナナのたたき売りの発祥地であることからバナナに関するお土産などが多くあり、年間200万人の観光客が訪れる一大観光地となっているとの事でした。当日は強風と寒波の為か散策している方はまばらでスピーディーに散策できました。

その後は福岡市に戻り夕食を頂き、視察研修の初日を終えました。夕食を頂いた「日本料理 てる岡」さんは以前に視察研修で福岡を訪れた際にお世話になった老舗の料亭でもとても美味しい上品なお料理でした。おすすめの博多グルメのお店を教えて頂きお店を後にしました。



2日目のスタートは大宰府天満宮のお参りからでした。神社仏閣に詳しくない私でも知っている学業成就で有名な菅原道真公を祀っています。御神牛（ごしんぎゅう）という牛の像が設置しており、頭を撫でると賢くなれる、怪我や病気がある場所を撫でると回復すると言われる撫牛（なでうし）の風習がありました。お守りを買ったり、おみくじ、牛を撫でたりと皆さん思い思いに参拝してきました！

最後の視察地は辛子明太子を製造販売している「ふくや」さんです。辛子明太子の製造の歴史、製造工程について学びの箱詰めの工程を見学し視察終了となりました。

3年ぶりの視察研修となりましたが事故なく無事に終えることが出来ました。歴史や文化に触れることが出来たこと、部員同士の親睦を深める良い機会になったと思います。

今年度も残りわずかとなりましたが次年度からはコロナとの付き合い方がより変わっていくと思います。吉川市商工会青年部としても色々活動していきます。その際は是非ともご協力をよろしくお願い致します。



令和5年
2月号

発行
吉川市商工会
青年部広報委員会
VOL.57

